

大阪工大通信 おとよど

みらいをつくる つたえる まもる。
大阪工業大学
OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

編集・発行/学生部学生課

〒535-8585 大阪市旭区大宮5-16-1

E-mail: OIT.Gakusei@joshu.ac.jp

Tel: 06-6954-4651 Fax: 06-6951-7760

おとよどWebsite (本号をはじめバックナンバーをアップ)
<https://www.oit.ac.jp/japanese/public/magazine.html>

OIT Website▶<https://www.oit.ac.jp>

大阪工業大学通信

おとよど No.283

2023年1月

常翔学園創立100周年記念イベント

OITキャンドルナイトを実施しました!

CONTENTS

P2

情報科学部

「ひらかた市民大学」を
開催 ほか

P3

民間奨学金 関連記事 ほか

P4~5

学園祭報告

城北祭・茶屋町祭・北山祭

P6~7

人力飛行機プロジェクトが
理事長表彰 ほか

P8

大阪万博共創チャレンジ

「TEAM EXPO2025」

プログラムの「淀川クリーン

キャンペーン」を実施 ほか





米国ポモナ大学と ワークショップを実施しました

9月27日、ロボティクス&デザイン工学部ロボット工学科の生活支援ロボットシステム研究室(廣井准教授)の学生5人と米国ポモナ大学の学生12人(指導教員:歴史学科 Angelina Chin<アンジェリーナ・チン>准教授)が「コロナ禍における大学生生活の質の向上」をテーマにオンラインでディスカッションを行いました。

同研究室の学生が、室内に設置したカメラで人が触れた箇所をAIが認識し、その消毒を行う自律型ロボット「消毒ロボット」の提案と、離れた場所から教員が履修者に対して、コミュニケーションを図り指導が可能な「学習支援ロボット」の実演、紹介をしました。本ロボットは昨年度から同学科の設計製図の授業で使用され、毎年改良されています。

ポモナ大学の学生からは、同大での運用を想定して「昼休みの食堂など、混雑している場所や時間でも問題はないか」「予想できない人の動きや位置がズレたイスなどにも対応できるのか」「清掃スタッフの仕事を奪うことになるのではないか」など、活発な意見交換が行われました。同研究室の学生は「文化が違う海外からの視点で想像できない質問もあり刺激になった」とディスカッションを振り返りました。



本学学生とポモナ大(画面内)の学生



学習支援ロボットのデモを行う様子



距離や時差を越えて意見交換する両大学生



「ひらかた市民大学」を開催しました

11月19日、枚方キャンパスで「ひらかた市民大学」を開催しました。「ひらかた市民大学」は、特色ある枚方市内の大学の専門的な知識・情報を学習することができる講座を市民のみなさんに提供し、多様化・高度化する学習意欲に応え、生涯学習の推進と生きがいの増進を図ることを目的としたもので、同日は情報科学部の水谷准教授のプログラミングの仕組みについての講義の後、同学部の須永教授の指導でパソコンを使用してプログラミングを体験しました。約30人の参加者は慣れない数式や記号に悪戦苦闘しながらも活発な質疑応答があり、終始和やかな雰囲気でした。終了後のアンケートでは「プログラムの基礎が学べてよかった」「もっと学んでみたい」などの感想が多数ありました。



講義の様子



プログラミング実施の様子





「台湾知的財産インターンシップ」を実施しました

知的財産学部・研究科では、2022年9月12日から16日の5日間、国際的な知的財産実務を学ぶために、台湾の弁理士事務所によるオンラインでの指導、業務の体験を内容とするプログラムを実施しました。2019年度までは大学院生が台湾で1ヵ月以上滞在するプログラムでしたが、コロナ禍による中断を経て、今年度はオンラインで実施しました。

台湾台北の「恆融智慧財産事務所 (CMC Intellectual Property Firm)」とオンラインで結び、事前に提示される課題に基づいて、現地の弁理士と直接、議論し、課題を検討しました。本学客員教授で同事務所所長の陳昭明先生の指導のもと、同事務所の弁理士2人から特許出願、特許権侵害訴訟、商標出願、商標権侵害訴訟に関する業務、クライアント対応業務、弁理士事務所内でのワークフローの指導を受けました。また、台湾企業の知的財産業務担当者、公益財団法人日本台湾交流協会の知的財産担当者からも講義を受けて、充実したインターンシップとなりました。



台湾知的財産インターンシップの様子

民間奨学団体(大学推薦型)にかかる推薦希望者の事前登録を受付けます

多くの企業や公益法人等(以下、「民間奨学団体」という)では、広く社会に貢献する人材育成を目的に奨学事業を実施しています。この奨学金は民間奨学団体が大学を通じて一定の推薦枠を設けて、奨学生を募集するものです。原則、給付制(返還不要)で大学からの推薦がなければ応募出来ません。民間奨学団体の応募に相応しい人物を学内で選考したうえで、各奨学団体に推薦します。

2023年度の推薦希望者の事前登録を右記の期間に受付けます。詳細は各キャンパスの奨学金担当部署より12月中旬以降にポータル・キャビネットを通じてお知らせしています。希望者は詳細を確認し、登録手続きを行ってください。

登録受付期間
各キャンパス共通

2023年1月10日(火)~1月20日(金)
(日曜等、窓口閉鎖時を除く)

※民間奨学団体の採用枠・推薦枠は非常に限られていますので、登録後、全員が奨学金に推薦・採用されるわけではありません。これらを理解したうえで、登録してください。

2022年度奨学団体の採用実績(参考情報)

例年、40人前後の(学部・大学院)の学生を民間奨学団体に推薦しています。以下の表は例年ほぼ継続的に推薦依頼のある民間奨学団体です。

団体名	受給月額	採用人数	団体名	受給月額	採用人数
西村奨学財団	60,000円	2人	共進会奨学財団	30,000円	4人
富本奨学会	35,000円	1人	中村積善会	50,000円	1人
きたしん育英会	20,000円	1人	ユニ・チャーム共振財団	40,000円	1人
小野奨学会	50,000円	22人	小野奨学会(院)	70,000円	5人
中西奨学会	45,000円	1人	タイガー育英会(院)	40,000円	1人
夢&環境等支援宮崎記念基金	30,000円	1人	富本奨学会(院)	40,000円	1人

学生相談室 だより

好きな人と、好きなことを

学生相談室カウンセラー 重田 智

幸せになるために 生まれてきたんだから
好きな人と 一緒にいなさい
大切なことなんか わかってくるんだから
好きなことを やっていきなさい

これは、玉置浩二さんが歌う「しあわせのランプ」(作詞:玉置浩二・須藤晃、作曲:玉置浩二)という歌の一節です。“幸せになるために生まれてきた”なんて、そんなのは綺麗事だ、理想論でしかない、そう感じる人もいるかもしれません。それに実際のところ、好きな人とだけ一緒にいて、好きなことだけをしているわけにいかないのも事実です。それでもこの歌詞には、私たちが生きていく上で大切にしたい、重要なメッセージが込められているように思います。

皆さんの中には、毎日忙しくてやるべきことをこなすだけで精一杯という人もいらっしゃるかもしれません。しかし、“好き”という気持ちは本当に大きなエネルギーをもたらしてくれます。たとえほんの短い時間であっても、好きな人と一緒に過ごしたり、自分が好きだと思うことをやってみたり、そういう時間を意識して作ってみてください。疲れたときや元気が出ないときほど、そうした時間が前に進むための活力を生み出してくれるはずですよ。

新しい1年、皆さんのもとに、幸せを感じる時間がたくさん訪れますように。

にょいの記憶

学生相談室カウンセラー 高松 沙弥

皆さんは「ブルースト効果」を知っていますか?特定の「にょい」が、それに結びつく記憶や感情などを呼び起こす現象です。私の場合、はじめて歩く路地裏で「このにょい、懐かしい…。何だっけ?」と思い、なぜかウキウキした気持ちになったんです。その後しばらく考えて「あつ、おばあちゃん家の裏のにょいだ!」と気づいたわけです。決していいにょいではありませんが、子どもならではの独創的な心と体の感覚を思い出しました。皆さんもこのような経験があるのではないのでしょうか。年始というところとうとう、どんど焼き(お守りなどのお焚き上げ)の煙のにょい、餅を焼くにょいなどで、何か過去の感覚を思い出す人もいらっしゃるかもしれません。

脳には感情・本能を司る「大脳辺縁系」と理性的な思考を司る「大脳新皮質」がありますが、五感のなかで唯一「にょい」だけが「大脳辺縁系」に直接伝達されます。そのため、にょいの情報は、ほかの情報よりも早く強い刺激として脳に伝わるのです。また嗅覚は生命の維持にとって特に重要なものと考えられています。嗅覚があるから、生まれてすぐの赤ちゃんが母親を認識できたり、目の前にある物を食べて良いかの判断ができていたりします。嗅覚は我々が生きていく上で、重要な役割を担っているのです。

最近はマスクをつけている時間が長く、息を吸ったり匂いを嗅いだりすることを、体が無意識にセーブしているかもしれません。そして、息が浅くなっている人が多いように思います。だからこそ、はずせるときはマスクをはずし、最初に大きく深呼吸をして、ぜひいろんなにょいに出会ってください。何年かして「このにょい、懐かしい!」と感じられるかもしれません。

報告

城北祭

(大宮キャンパス)

2022 10/21 (Fri) ▶ 23 (Sun)

テーマ
「SOAR ~翔る~」

城北祭実行委員会
委員長
稲葉 菜々美



初めに、第74回城北祭にご来場いただいた方、城北祭開催にあたって協力して下さった関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

今年「SOAR~翔る~」というテーマを掲げ、対面で城北祭を開催すべく、新企画やゲスト(声優やアーティスト)企画、模擬店出店など参加する全ての方が楽しめる企画を用意して、実施することができました。

たくさんの方に足を運んでいただき、コロナ禍前の様な賑わいを取り戻せた城北祭となり、大変嬉しく思っています。

来年もぜひ大阪工業大学大宮キャンパスに足を運んでいただき、城北祭を思う存分楽しんでください。よろしくお願いたします。



開祭式



学長挨拶



学術研究部門

賞	表彰団体
学長賞	文化会 応用化学研究部
後援会会長賞	文化会 機械工学研究部
大阪工業大学校友会会長賞	文化会 土木文化研究部

芸術系部門

賞	表彰団体
学長賞	文化会 天文学研究部
後援会会長賞	文化会 鉄道研究部
大阪工業大学校友会会長賞	文化会 写真研究部

音楽系部門

賞	表彰団体
学長賞	文化会 ピアノの会



トーワショー



ビンゴ大会



演武祭



キャンドルナイト



実行委員会集合写真

2022 10/23 Sun



茶屋町祭
各賞一覧

2022年度

茶屋町祭実行委員会
委員長
西谷 憲人

この度は第6回茶屋町祭にご来場いただきまして誠にありがとうございました！

今回は3年ぶりの対面での開催ということで非常に緊張し不安でいっぱいでしたが、無事に大盛況で終えることができました。

これもひとえに、茶屋町祭にご来場いただきました皆様、また開催にあたり多くのご協力をいただきました関係者の皆様のおかげです。ありがとうございました。

久しぶりの対面での開催で皆様にご来場していただけるの不安でしたが、多くの方が来てくださり非常に嬉しく思っています。

次回第7回茶屋町祭は今回よりも進化した茶屋町祭にしていきますので、どうぞよろしくお願いたします！！

第6回茶屋町祭大成功！



空間デザイン研究部と有志の学生による
キャンドルナイト



先生方による
特別演奏



イベントクリエイター部によるBluetooth通信を用いたラジコンゲームと2Dゲーム



梅田ロボットプログラミング部による
とびっさりのロボット操縦体験



閉祭式 表彰



賞 受賞者

学長賞	キャンドルナイト 文化会 空間デザイン研究部 文化会 OIT梅田ボランティア部 文化会 イベントクリエイター部 有志学生一同
学部長賞Ⅰ	文化会 梅田ロボットプログラミング部
学部長賞Ⅱ	文化会 ピアノの会
大阪工業大学 校友会会長賞	文化会 OIT梅田ボランティア部
後援会会長賞	文化会 イベントクリエイター部
RDC長賞	(1位) 株式会社ピーエーエス 睡眠班 (2位) 太陽ケーブルテック株式会社 (2位) 株式会社ニッコー/日本電産シンポ株式会社

2022 11/3 Thu 祝



北山祭実行委員会
委員長
奥野 真伍

第25回北山祭は3年ぶりに外部の方々を迎えての開催となりました。

目玉イベントであるフリーマーケットや模擬店、Oh!ITカーニバルなど、コロナ禍前の形に少しでも戻せるように新型コロナウイルス対策を講じながら、北山祭開催を実現させました。

ステージイベントでは、毎年恒例のよしもとお笑いライブに加えて、久保田雅人様による工作ショー、課外活動団体や有志による熱のこもったパフォーマンスで大いに盛り上がりました。また、文化会課外活動団体による作品展示を各教室で行いました。

今年度は外部の方々楽しんでる姿を直接目にするのができた北山祭になりました。今後とも進化し続ける北山祭をどうぞよろしくお願いたします！

ウインドアンサンブル演奏



ステージ前は大勢の観覧者



フリーマーケット



大盛り上がり
のビンゴ大会



ミュージック部演奏



Oh!ITカーニバル



ジャグリングクラブ
パフォーマンス



バレーダンス部
パフォーマンス



緑日



北山祭
研究室発表
各賞一覧

2022年度

賞 受賞者

学長賞	メディアインタラクション研究室 (大井講師)
学部長賞	Visual Computing 研究室 (村木講師)
後援会会長賞	神経模倣システム研究室 (奥野准教授)
大阪工業大学 校友会会長賞	サイバーヒューマンシステム研究室 (榎原准教授)
イノベーション大賞	知能応用システム研究室 (尾崎教授)

空手道部、2年連続の 全日本大学空手道 選手権大会出場

11月20日、第66回全日本大学空手道選手権大会〔団体戦〕(日本武道館)が開催されました。本学体育会空手道部は2年連続の全国大会出場となりました。初戦の対戦校は明海大学で、惜しくも初戦敗退となりました。

主将の竹村友汰さん(P4)は、「団体戦は1人だけが勝ってもダメで、3人以上が勝たなければなりません。必ず俺が勝つ、そして後ろに繋げる。この気持ちをチーム全員がもっと強く持って欲しいと思います。今回全国大会に出場した後輩たちは負けて悔しい気持ちを忘れずに練習に励んで欲しいです。」と熱いメッセージを後輩たちに送ってくれました。

次なる目標の実現に向けて、邁進する空手道部の今後の活躍に期待です。



全国大会出場決定時の集合写真

「2022年度 学内献血」への ご協力ありがとうございました!

11月29~30日、大宮キャンパスで体育会・文化会の本部員が中心になって事前の告知や設営準備、受付を行い学内献血を実施しました。両日で86人の方に献血をご協力いただきました。誠にありがとうございました!

輸血と聞くと、事故や大怪我での使用を連想される方が多いと思われそうですが、実際は病気(がんや白血病など)の治療等で日常的に使われています。あなたの献血は誰かの命につながります。

大阪工業大学では、今後も継続的に各キャンパスで献血を実施するので、ご協力くださいますようお願いいたします!



献血の様子

人力飛行機プロジェクトが 理事長表彰を受けました

10月24日、本部棟5階第1会議室にて人力飛行機プロジェクトが、理事長表彰を受けました。

人力飛行機プロジェクトは7月24日に開催された「Iwataniスペシャル第44回鳥人間コンテスト2022」の人力プロペラ機部門において、工大史上最長フライトである14,274.23mを飛行し、第2位の成績に加え、審査員特別賞を受賞。また、テレビ放映を通じて、大学および学園の名を広めました。

当日は、西村理事長から表彰状・副賞(人力飛行機プロジェクト部員がデザインしたピンバッジ)が授与され、人力飛行機プロジェクトの活躍をたたえた祝辞をいただきました。

なお、同日に6号館15階のルーラッシュで学長表彰も行い、井上学長から表彰状・副賞(後援会より援助)が授与されました。

今後の人力飛行機プロジェクトのさらなる活躍に期待してください。



常翔学園創立100周年記念イベント 「OITキャンドルナイト」を実施しました



メインキャンドル (大宮)

10月22日、大宮キャンパスと梅田キャンパスにて、「OITキャンドルナイト」を実施しました。大宮キャンパスでは、文化会本部を中心としたキャンドルナイト実行委員会を結成し、企画から運営、展示物の制作を行い、約1,500人の来場がありました。メインキャンドルは、各課外活動団体や学生プロジェクトの全メンバーが制作した3,000機以上の紙飛行機を実行委員がつなげ、最終的には5mを超える大型モニュメントを展示することができました。また、剣道部・野球部・ロボットプロジェクト・将棋部・写真研究部・機械工学研究部など課外活動団体や有志団体が各120個のキャンドルを使ってキャンドルアートを表現してくれました。そして、人力飛行機プロジェクトは過去の大会で使用した機体を展示し、OCF軽音楽部・文化会軽音楽部・ストリートダンス部・書道部は中央ステージでパフォーマンスを披露してくれました。

梅田キャンパスでは、空間デザイン研究部を中心に、OIT梅田ボランティア部、イベントクリエイター部と有志の学生が、課外活動や学科の垣根を超え、100周年をモチーフにメインキャンドルを制作しました。「僕らのロード翔」と題し、さらに未来へ翔けていくという思いを込めました。またキャンドルの光の中、ピアノの会が、その情景にふさわしい曲目を演奏し、来場者を魅了しました。

常翔学園創立100周年記念イベントは心地いい秋風と共に揺らぐキャンドルで彩られた空間を楽しむことができました。



学生アワード (全体)



書道部による
書道パフォーマンス



学生アワード (将棋部)



100周年をモチーフとした
メインキャンドル (梅田)
「僕らのロード翔」



ピアノの会による
ピアノコンサート

【大宮】学生アワード 各賞一覧

賞	受賞団体
ベストオブキャンドルナイト賞	体育会 剣道部
グッドデザイン賞	文化会 将棋部
カメラマ賞(提供:カメラマ株式会社)	有志団体 MOMO

常翔学園創立100周年記念コンサートで 文化会ウインドアンサンブルが演奏しました!

11月13日、学園は常翔学園創立100周年記念コンサート「常翔学園 吹奏楽演奏会」を梅田キャンパスの常翔ホールで開催しました。

当日は本学文化会ウインドアンサンブル、摂南大学文化会吹奏楽部、広島国際大学文化会和太鼓部、常翔学園中学校吹奏楽部、常翔学園高等学校吹奏楽部、常翔啓光学園中学校・高等学校吹奏楽部の総勢約220人の学生・生徒が参加しました。会場に詰めかけた一般の方や保護者、卒業生、教職員など438人が学生・生徒らのフレッシュでエネルギッシュな演奏を楽しみました。

本学の文化会ウインドアンサンブルは、大学歌、『ロマネスク』、『鷺の舞うところ』などの全4曲を演奏しました。この日のために、幹部の学生を中心に一生懸命練習に励んでいました。文化会唯一の強化団体である、ウインドアンサンブルの今後の活動にご期待ください!



大阪万博共創チャレンジ「TEAM EXPO2025」プログラムの「淀川クリーンキャンペーン」を実施しました

11月19日、大阪万博共創チャレンジ「TEAM EXPO2025」プログラムに登録している活動で、淀川橋梁（通称：赤川鉄橋）付近から本学河川敷グラウンド付近の清掃活動を行う「淀川クリーンキャンペーン」を実施しました。

「TEAM EXPO2025」プログラムとは、大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するために、自らが主体となって未来に向けて行動を起こしている、または行動を起こそうとしているチームの活動のことで、本学の「淀川クリーンキャンペーン」の活動も本学が共創パートナーとして登録する活動のなかの1つです。

淀川河川敷を清掃活動して水都大阪のシンボルである淀川を美しく保ち次世代に繋ぐことを目的とし、本学の文化会本部、城北祭実行委員会と旭区役所が共同で実施（協賛：大阪城北ロータリークラブ）し、本学学生、本学スポーツ教室の子供たちと保護者のみなさん、地域にお住まいのみなさんの224人が参加しました。



たくさんの参加者が集まり、周辺を清掃



積極的にゴミを回収しました

「マサチューセッツ工科大学 グローバル特別講演会」を実施しました

11月22日、本学空手道部が加盟している関西学生空手道連盟の国際交流行事の一環として、マサチューセッツ工科大学、ハーバード大学、ジョージワシントン大学、ウェズリー大学、コネティカット大学、コーネル大学、ボストン大学で空手道を修練する学生と指導者が来学されました。

午前中は、本学の剣道部、茶道部、書道部の演武やパフォーマンスの披露があり、それぞれの伝統文化やわびさびを体験しました。

午後からは、6号館15階のルラーシュで、マサチューセッツ工科大学リンカーン研究所でナノ技術の研究をされているヴァージリク・チヨヤン氏による「MIT グローバル特別講演会」を実施しました。会場には約120人の学生・教職員が参加し、専門的な研究内容の講義や、空手道を始めた経緯や海外で空手道を修練する目的などの講演の後、参加した学生からも多数の質疑応答がありとても有意義な講演会となりました。



講演会の様子

ウェルフェアニュース

WelfareNews

【カフェテリア北山】からのご案内

枚方キャンパスの中にある当店カフェテリア北山は、大阪府ゴールドステッカーを取得し、卓上アクリル板の設置等感染予防に努めております。

日々学生の皆様に喜んでいただける温かく美味しいご飯の提供を心がけております。

手作りパンや季節に応じたイベントメニューもご用意していますので是非食堂に足を運んでください。元気と笑顔いっぱいお待ちしております。



工大流就職支援 58

～就職NEWS～

10月24日、「2022年度インターンシップ報告会」を開催しました。今年度はコロナ禍のため、大宮キャンパスに中継室を設置し、井上学長、岡山副学長、各学部長、椋平教務部長のほか、関係する先生方にお越しいただき、インターンシップ履修生、受入企業の方々約120人に対してオンラインで実施しました。インターンシップに参加した学生4人から、実習内容、大学で学んだことが社会でどのように活かされているか等の体験を報告。各実習生の受入企業の方々からは、実習に対して真剣に取り組む姿勢を評価いただき等、工大生に対して期待を寄せていただきました。本授業で行っているインターンシップは、「就職に強い工大」の特色の一つです。



発表を終えた学生（左からR3米田壮志さん、M3王子谷涼我さん、C3三原綾乃さん、E3出口綜大さん）